

衛生法規に関する問題

問1 クリーニング業法に関する次の記述について、当てはまるものを下の語群の中から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

「クリーニング業法」

(目的)

第1条 この法律は、クリーニング業に対して、(①)の見地から必要な指導及び取締りを行い、もつてその経営を(②)に適合させるとともに、(③)の利益の擁護を図ることを目的とする。

(定義)

第2条 この法律で、「クリーニング業」とは、溶剤又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は(④)を原型のまま洗たくすること(繊維製品を使用させるために貸与し、その使用済み後はこれを回収して洗たくし、さらにこれを貸与することを繰り返して行うことを含む。)を営業とすることをいう。

2 この法律で「営業者」とはクリーニング業を営む者(洗たくをしないで洗たく物の受取及び引渡をすることを営業とする者を含む。)をいう。

3 この法律で、「クリーニング師」とは、第6条に規定する免許を受けた者をいう。

4 この法律で、「クリーニング所」とは、洗たく物の(⑤)又は受取及び引渡しのための営業者の施設をいう。

<語群>

ア 社会情勢	イ 処理	ウ 化学製品	エ 公共の福祉
オ 公衆衛生等	カ 利用者	キ 皮革製品	ク 営業者
ケ 専門家	コ 乾燥		

問2 クリーニング業法施行規則に関する次の記述について、【 】のうち正しいものを選び、解答欄にAまたはBを記入しなさい。

- (1) クリーニング師の免許を受けようとする者は、本籍、住所、氏名及び生年月日を書いた申請書に【A. 住民票 B. 戸籍の謄本又は抄本】及び業務を行おうとする場所に係る書類を添えて、クリーニング師試験合格地の都道府県知事に申請しなければならない。
- (2) クリーニング師が免許証を破り、汚し、又は失ったときはその旨を書き、破り、又は汚した場合においてはその免許証を添え、【A. 20日 B. 1月】以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。
- (3) 免許証の再交付を申請した後、失った免許証を発見したときは、【A. 5日 B. 10日】以内に免許を与えた都道府県知事に提出しなければならない。
- (4) クリーニング師が死亡し、又は失そうの宣告を受けたときは、戸籍法に規定する届出義務者は、【A. 1月 B. 3月】以内に免許証を免許を与えた都道府県知事に返納しなければならない。
- (5) ①クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後1年以内に法第8条の2の規定による研修を受けるものとする。
②クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、前項の研修を受けた後は、【A. 3年 B. 5年】を超えない期間ごとに研修を受けるものとする。

問3 クリーニング業に関する次の記述について、正しいものには○を、誤っているものには×を解答欄に記入しなさい。

- (1) 営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、洗たく機及び脱水機をそれぞれ少なくとも1台備えなければならない。
- (2) 洗場については、床をコンクリートなどの不浸透性材料で築造し、排水口を設ける必要がある。
- (3) クリーニング所を開設しないで車両のみでクリーニングに係る取次業を営む場合は、その旨を都道府県知事に届け出る必要はない。
- (4) クリーニングに関する苦情については、洗濯物の受取者が対応すればよいので、営業者は、苦情の申出先を明示する必要はない。
- (5) 都道府県知事は、営業者又はその使用人で、洗濯物の処理又は受取及び引渡しの業務に従事するものが伝染性の疾病にかかり、その就業が公衆衛生上不適当と認めるときは、期間を定めてその業務を停止することができる。

問4 クリーニング業法に関する次の記述について、正しいものには○を、誤っているものには×を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング師の免許は、都道府県知事を経由して厚生労働大臣がクリーニング師試験に合格した者に与える。
- (2) 営業者は、クリーニング所の構造設備がクリーニング業法で基準を満たしていれば、都道府県知事の検査を受けないで使用してもよい。
- (3) 営業者は、クリーニング師の免許があれば、クリーニング所以外においても、営業として洗たく物の処理ができる。
- (4) クリーニング師が、本籍又は氏名に変更があったときは、20日以内に免許証の訂正を申請しなければならない。
- (5) 都道府県知事は、クリーニング師がクリーニング業に関し犯罪を犯して罰以上の刑に処せられたときは、その免許を取り消すことができる。

公衆衛生に関する問題

問5 次の説明文について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 多くの微生物は湿潤環境を好むため、洗濯物は乾燥状態で保管すべきである
- (2) 感染症対策において、洗濯前の委託物に触れる場合には、マスクやエプロンの着用と接触後の手洗いが重要である。
- (3) ノロウイルスに係る吐ぶつやふん便が付着した布団などのリネン類を消毒する際には、熱水洗濯が適しているが、熱水洗濯が行える洗濯機が無い場合には、次亜塩素酸ナトリウムの消毒が有効である。
- (4) 洗濯機、乾燥機、プレス機などの洗濯物が触れる部分は、週1回以上の頻度で清掃または洗浄し、清潔にする。
- (5) インフルエンザの予防方法として、流行前のワクチン接種や飛沫感染対策としての咳エチケットなどがあげられる。

問6 次の説明文について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 洗濯物の受渡しにより、感染症に感染することはない。
- (2) ランドリーには、水道法に基づく水質基準に適合する水を必ず使用する。
- (3) 引火性溶剤を用いるドライクリーニングを営む工場は、住居系地域や、商業系地域にしか建築できない。
- (4) クリーニング所で使用されたテトラクロロエチレンや石油系溶剤を含むゴミは、燃えるゴミとして市町村が処理する。
- (5) クリーニング所（洗濯物の受取り及び引渡しのみをおこなうものを除く。）を開設しようとするときは、水質汚濁防止法に基づく特定施設の届出が必要である。

問7 次の語句の組み合わせについて、正しいものには○印を、誤っているものに×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 再興感染症 — 結核
- (2) 再興感染症 — 腸管出血性大腸菌 O157
- (3) 新興感染症 — マラリア
- (4) 再興感染症 — エボラ出血熱
- (5) 新興感染症 — SARS

問8 「クリーニング店が行うべき感染症対策」に関する次の説明文について、当てはまるものを下の語群の中から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

営業所を清潔に保つことは当然のことながら、感染症対策としては、従業員の（①）、手洗いの励行、洗濯物の確認が挙げられる。

感染症が流行している時期に少しでも感染の疑いのある従業員に対しては、自ら進んで健康状態を申告することを徹底し、（②）を勧めることが重要である。

感染拡大の原因が主に（③）である感染症については、手洗いが予防策として効果がある。営業所内に手洗い施設の確保や（④）の常備等を行い、従業員に対して手洗いの徹底を図ることが重要である。

営業所内において、作業する領域の（⑤）が大切である。

<語群>

ア 休暇の取得	イ 処遇改善	ウ 加湿
エ 母子感染	オ 健康管理	カ 自宅での療養
キ 乾燥	ク 蚊媒介感染	ケ 不織布製マスク
コ 経口感染	サ 適度な運動	シ 換気
ス 風邪薬	セ 医療機関等での診療	ソ 消毒液

洗濯物の処理に関する知識

問9 洗濯の基本的知識に関する次の説明文について、当てはまるものを下の語群の中から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 和服の立体乾燥は、(①) °C以下で行う。
- (2) ポリウレタンの洗濯には (②) の使用を避ける。
- (3) 毛皮のクリーニングには (③) やおかくずなどを使用する。
- (4) ランドリー用助剤として使用する (④) には、汚れの酸性を中和する、硬水を軟水にする等の効果がある。
- (5) 汚れ、シミをその溶解性から分類すると、泥やセメントの汚れは (⑤) に分類される。

<語群>

ア 40	イ メタ珪酸ナトリウム	ウ ドライクリーニング溶剤
エ 油性汚れ	オ 50	カ 塩素系漂白剤
キ 片栗粉	ク コーンパウダー	ケ 過炭酸ナトリウム
コ 不溶性汚れ		

問10 次の説明文について、正しいものを1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

(1) 皮革の特徴について

- ア 汚れ、シミが深部まで浸透しにくく、落ちにくい。
- イ 皮質はどの部分も一定である。
- ウ 熱に弱く、高熱を受けると硬化収縮する。

(2) ドライクリーニング溶剤の特徴について

- ア 石油系溶剤は油脂溶解力が大きい。
- イ テトラクロロエチレン（パーク）は揮発しやすい。
- ウ ふっ素系溶剤 HFC-365mfc は、可燃性である。

(3) 染色工程について

- ア 精練は酸や界面活性剤で洗浄する。
- イ 日光に対する染色堅ろう度は1級が最弱である。
- ウ 顔料は水によく溶ける。

(4) 合成繊維について

- ア ナイロンは日光やガスなどにより赤く変色する。
- イ アクリルは耐光性がない。
- ウ ポリエステルは熱セットでプリーツ加工などの熱処理がしやすい。

(5) 再生繊維について

- ア キュプラは保湿性と清涼感がある。
- イ レーヨン染色性が悪い。
- ウ ポリノジックは長繊維のみ生産されている。

問11 ランドリー用水に関する次の説明文について、【 】のうち正しい方を選び、解答欄にAまたはBを記入しなさい。

(1) 無色透明、無味無臭、無菌で、液性が【①：A. 中性 B. アルカリ性】あること。

(2) ランドリー用水は【②：A. 軟水 B. 硬水】であり、水中の硬度成分は【③：A. 90 B. 110】ppm以下が望ましい。

(3) ランドリー用水に【④：A. 銅 B. 鉄分】や【⑤A. カルシウム B. マンガン】が水溶性塩の形で溶けていると黄褐色の原因となる。

問12 次の説明文について、当てはまるものを下の語群の中から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) プロミックスは牛乳 (①) にアクリロニトリルを結合した動物性の半合成繊維である。
- (2) キュプラは原料のコットンリンターを (②) 溶液で溶かしてから紡糸してつくられた繊維である。
- (3) アクリルのタンブル乾燥温度は (③) 以下とすることが望ましい。
- (4) カゼインボタンは若干の (④) を含むので、幼児には不向きである。
- (5) (⑤) に折り目やヒダをつける加工では、シロセット加工が知られる。

<語群>

ア 60℃	イ アンモニア	ウ ホエー
エ 過マンガン酸カリウム	オ 羊毛	カ カゼイン
キ ホルマリン	ク 80℃	ケ 綿
コ 銅アンモニア		